

個性ある町づくりを目指して

Osaki



大崎町長 東 靖 弘

平成十四年度の町政運営について所信を表明し、町民の皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

我が国の経済は、長期にわたる低迷を続け、期待された二十一世紀初頭も景気回復の兆しは見られず、依然として企業等の倒産・合併が進行し、本町におきましても厳しい財政状況、少子高齢化、医療と保健福祉、健康、長寿と生きがい対策、教育、人材育成、農業の振興、環境保全、市町村合併など、様々な課題が山積する多難な時代です。この時期に、大崎町長選挙が執行され、去る十二月二十一日に就任しました。

農業をはじめ、商工水産業等、厳しい経営に直面している実態を踏まえ、職員ともに襟を正して、行政運営に努めます。

各施策の遂行につきましては、「行政はサービス産業」であるということを目覚し、同じコストならより大きなサービスを、同じサービスならより小さなコストを目指して、職員の英知を結集し、財政の効率的な運用に努めます。

私は、わが町の現状を分析し、幾つかの基本構想を掲げてきました。本年度は、職員を主体に政策研究会を立ち上げ、調査研究に取り組み、その実現に向け、一歩ずつ前進していきたいと考えています。

このような考えで編成しました平成十四年度の予算は、一般会計、特別会計などの総額、百二十三億七千二百二十七万四千円です。

それでは、主な施策等につきまして申し上げます。

農政関係

本町の基幹産業である農業の振興にあたりましては、

新規就農者支援事業の積極的な推進による新規就農者等の就農促進や、認定農業者の再認定及び掘り起こし、クリーンな鹿児島茶生産のための洗浄機の導入、一番茶安定対策の防霜ファン^イの設置、環境にやさしい茶づくり実証圃^イの設置、果樹特産品の産地化や経営安定のためのマンゴー及び鹿児島早生みかんの苗木導入助成、降灰対策事業によるハウスの導入、輸入野菜対策として、

大根・なすの産地育成事業や、かごしま園芸タウン育成事業による園芸振興などを計画しています。

林業振興につきましては、森林の有する多面的機能及び良質材生産向上を目的とした流域森林総合整備事業の推進を図るため、大崎町緊急間伐対策奨励金交付事業を創設します。

畜産関係では、牛海綿状脳症の発生による子牛等の価格低落や牛肉の消費低迷に伴い、飼養農家の生産意欲の減退や生産基盤の弱体化が進んでいます。今後は、牛肉の安全性をPRしながら消費拡大に努めるとともに、優良牛や優良豚の導入、並びに保留対策を進め、高齢牛の更新対策を積極的に推進します。

また、『家畜排泄物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律』の施行に伴う簡易堆肥保管施設の整備に対する町単独事業を本年度も実施するとともに、土着菌の活用による臭気対策等、環境に対する研修会等を実施し、畜産振興を図ります。

建設関係

道路関係では、国道四八号バイパスからふれあいの里公園へのアクセス道路や、大崎上町地区の「人にやさしい歩道」の築造などの整備促進に努力します。

公共下水道事業では、クリーンセンターの機械・電気設備工事と、汚泥処理棟建設工事などのほか、面的整備として、宮之馬場地区枝線建設工事等を進め、本年度末には、約九十ヘクタールの区域を供用開始する予定です。予定処理区域の住民の方々は、本事業の果たす役割、受益者負担金、使用料、排水設備に対する補助制度等の説明会を行い、十分なご理解をいただきながら事業を推進したいと思っております。

福祉保健関係

国民年金関係では、本年度からは直接、社会保険庁から被保険者に保険料の納付書が送付され、それぞれ金融機関等で納付していただくようになります。年金は、保険料を納めていただくことが受給権につながりますので、どうしても納められない人等に対し